403941-01ⓀR(07)

KVK 自動水栓 E1700・E1700L 取扱説明書1

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
■この取扱説明書はE1700仕様のイラストで説明しています。

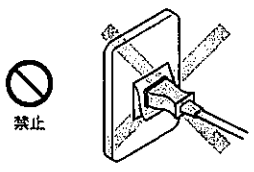
安全上のご注意1

●ここに示した ⚠警告 は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
●ここに示した ⚠注意 は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です	この絵表示は、「分解禁止」の内容です	この絵表示は、「接触禁止」の内容です	この絵表示は、「水場使用禁止」の内容です
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です		

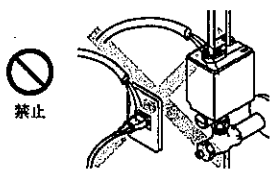
⚠警告

がたついているコンセントは使わないでください。



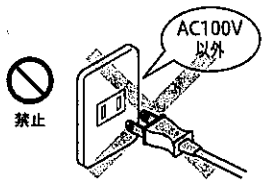
火災や感電の原因になります。

電磁弁ユニットや電源プラグには水をかけないでください。



火災や感電の原因になります。

指定する電源(AC100V)以外では使用しないでください。

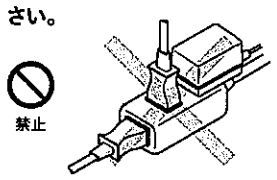


火災の原因になります。

電源ケーブル・電源プラグを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加熱したりするようなことはしないでください。

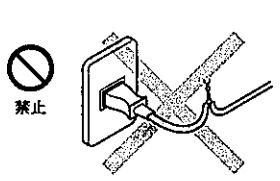
感電・ショート・火災の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。



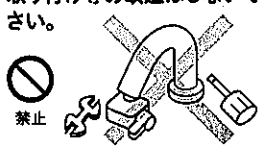
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源ケーブルの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。



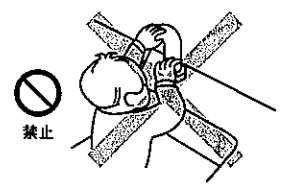
火災の原因になります。

加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。



器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

小さいお子様だけの使用は避けてください。



けがをするおそれがあります。

配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水管含む)には絶対に通電しないでください。

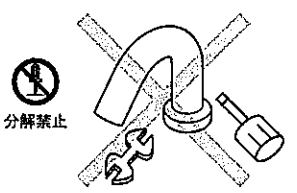
通電すると水栓や給水管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠警告

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

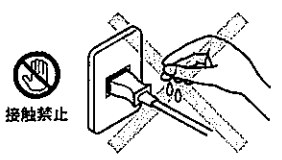
器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

分解したり、修理・改造はしないでください。



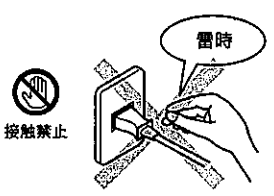
火災や感電の原因になります。

濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。



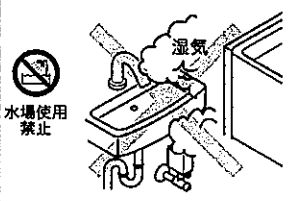
感電の原因になります。

雷が発生しているときは、電源ケーブルに触れないでください。



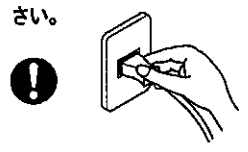
感電の原因になります。

浴室などの湿気の多い場所には設置しないでください。



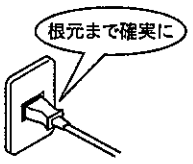
故障や感電のおそれがあります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜いてください。



電源プラグを引っぱるとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



火災や感電の原因になります。

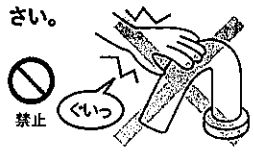
電源プラグの刃などについたほこりは定期的(月1回)に取り除き、根元まで確実に差し込んでください。

火災や感電の原因になります。
電源プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。

安全上のご注意2

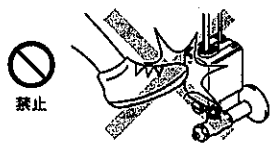
⚠注意

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

強い力や衝撃を与えないでください。

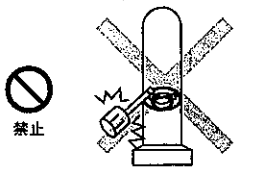


器具が破損し、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。

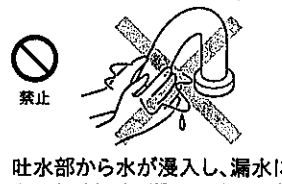
めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。

センサー面を傷つけないようにしてください。



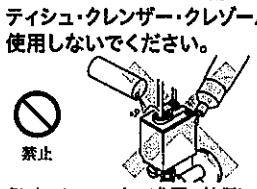
器具が破損するおそれがあります。

使用するときは、本体の吐水部をふさがないでください。



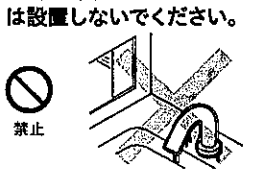
吐水部から水が浸入し、漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

トイレ用洗剤・住宅用洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・トイレ用ウェットティシュ・クレンザー・クレゾールを使用しないでください。



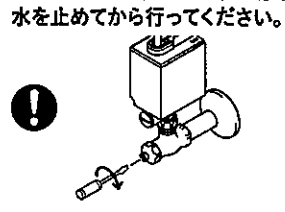
発火・ショート・感電・故障の原因となります。

屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。



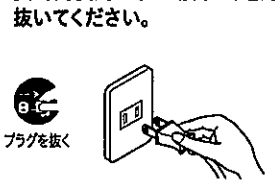
器具が破損して、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナの清掃は止水栓で必ず水を止めてから行ってください。



水漏れにより家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

長時間使用しない場合は、電源を抜いてください。



誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。

漏水をした場合の処置

漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。
シールの左下が品番です。
(シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください)

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
部品代…修理に使用した部品代
出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

KVK修理受付センター TEL 0120-474-161
上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からは058-234-8946をご利用ください。
受付時間／平日 9:00～18:30　土・日・祝日 9:00～17:00

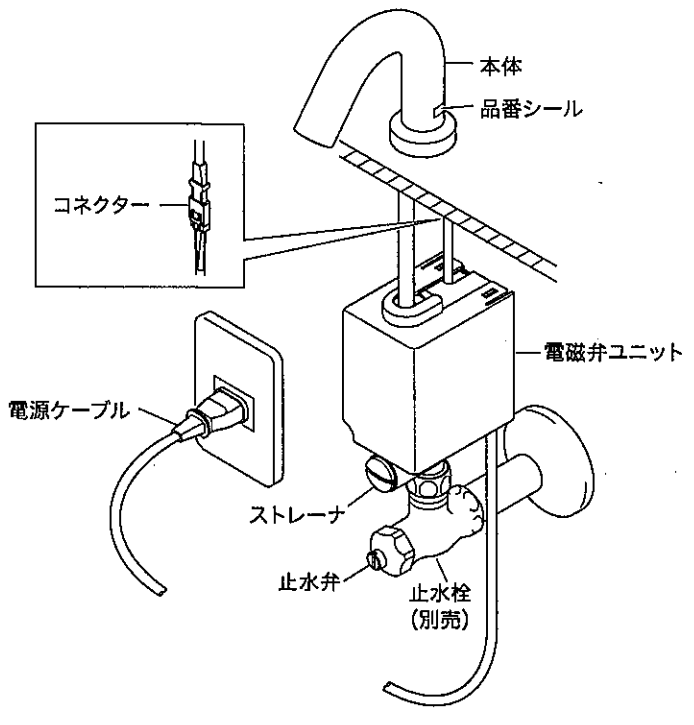
株式会社KVK
本社・工場／〒501-1195岐阜市黒野308／TEL058-239-3111代表
インターネットホームページ http://www.kvk.co.jp/

ご使用の前に

仕様

使用電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	待機時 0.2W以下
	使用時 5.5W以下
使用流体	1～40℃の上水道水(氷結、ゴミ等の混入が無い事)
使用環境	温度 1～40℃
	湿度 90%以下
給水圧力	最低必要水圧：0.05MPa(動水圧)
	最高水圧：0.75MPa(静水圧)
電源コード長さ	1.9m
吐水流量	3L/分(3L/分定流量弁内蔵)
感知距離	学習方式による感知距離変化型(セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します)

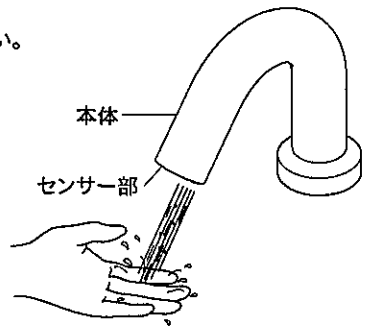
各部の名称



ご使用方法

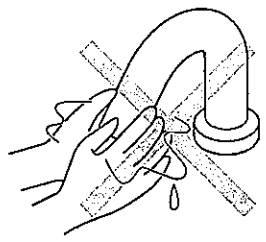
自動吐止水方法

本体のセンサー部に手を近づけると、自動的に吐水します。
手を離すと止水します。
約60秒連続して感知すると自動的に止水します。
再び吐水させたい時は、一度手を離して再度近づけてください。
【お願い】センサーの前に障害物を置かないでください。
誤作動の原因になります。

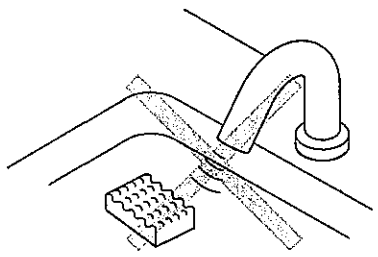


[ご使用時のお願い]

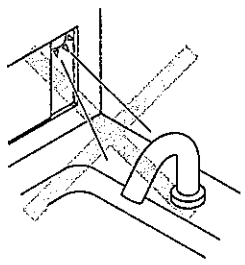
●使用するときは、本体の吐水部をふさがないでください。
吐水部から水が侵入し、漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



●センサー感知距離内に傷害物が入らないようにしてください。
誤作動の原因になります。
また、インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。



●直射日光が当たらないところに設置してください。



5ページ

日常のお手入れ・保守1

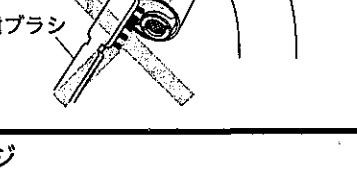
お手入れ方法

布やスポンジを使用したお手入れ方法

[軽い汚れの場合]
汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

[ひどい汚れの場合]
中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布でから拭きします。

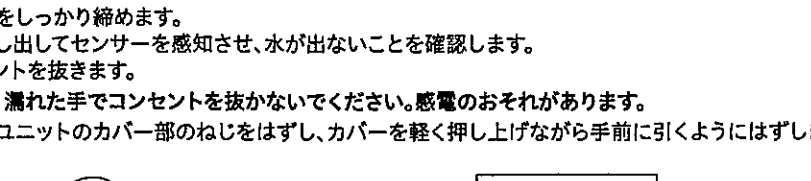
[使ってはいけないもの]
水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。
金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



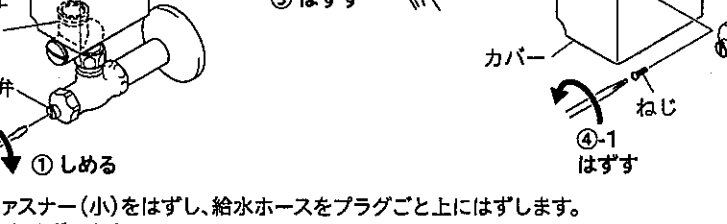
【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

センサーのお手入れ方法

センサーの表面に水アカなどが付着すると感知しにくくなりますので、半年に1回程度、定期的に清掃してください。
① 止水弁を締めます。
② 水またはぬるま湯に浸した綿棒で汚れを拭き取ります。
ひどい汚れの場合は、中性洗剤をぬるま湯でうすめたものを綿棒に浸し汚れを拭き取った後、水拭きしてください。
【お願い】センサーの表面に傷をつけないようにお手入れをしてください。



[使ってはいけないもの]
たわし・歯ブラシ等はセンサー表面にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



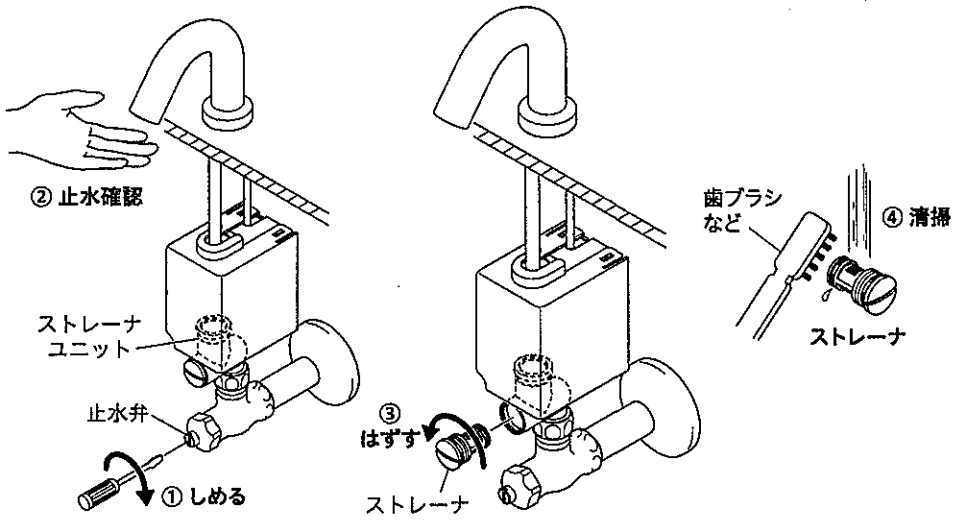
6ページ

日常のお手入れ・保守2

ストレーナの清掃方法

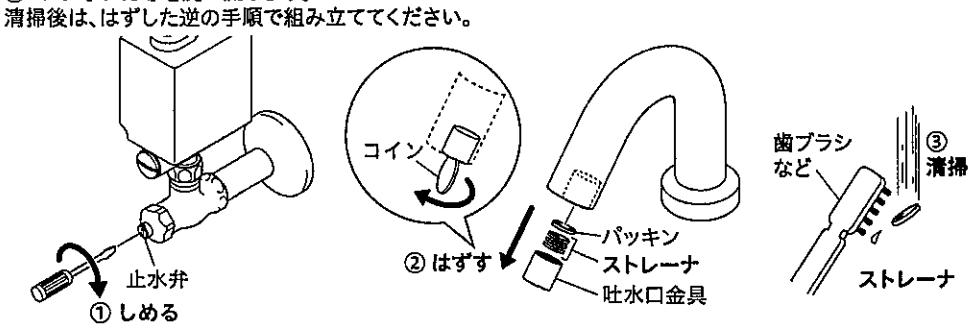
ストレーナユニットのストレーナ

ストレーナユニットのストレーナにゴミがつまりますと、吐水量が減る場合がありますので、定期的に清掃してください。
【⚠注意】ストレーナの清掃は、止水弁で必ず止水してから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと水濡れにより家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
① 止水弁をしっかり締めます。
② 手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ないことを確認します。
③ ストレーナを反時計回りに回し、取りはずします。
④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。
清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



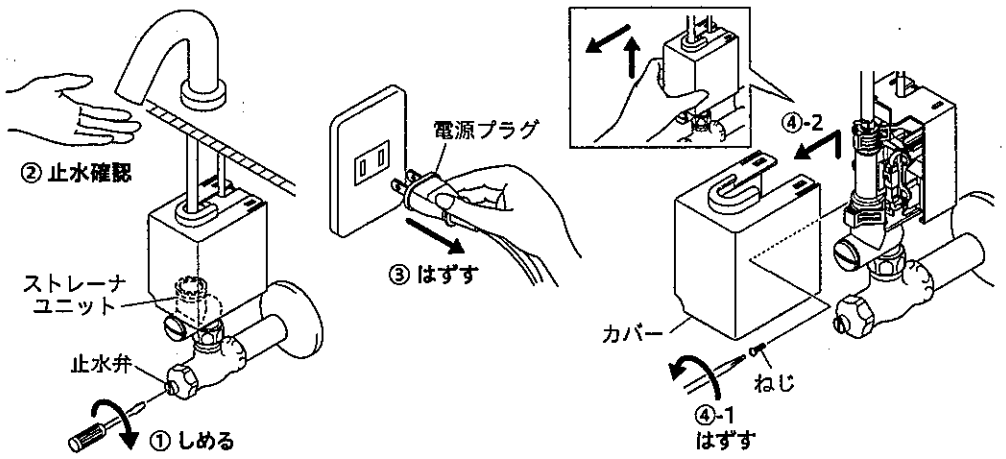
吐水口金具のストレーナ

吐水口金具のストレーナにゴミなどがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので定期的に清掃してください。
① 止水弁をしっかり締めます。
② 吐水口金具をコイン等を利用し、反時計回りに回しストレーナを取りはずします。
③ ゴミ・水アカ等を洗い流します。
清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

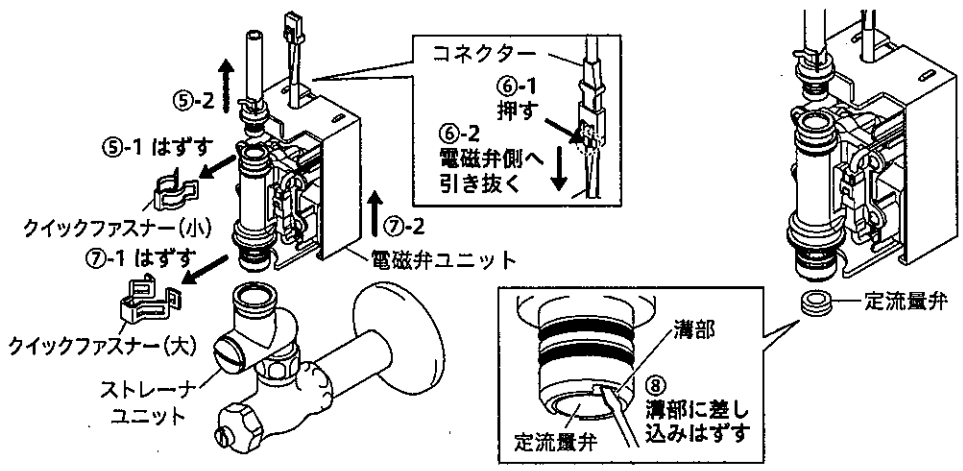


流量が不足している場合の調整方法1

本製品は、電磁弁ユニット内部に定流量弁を内蔵していますので、基本的に流量調節は不要です。
ただし、圧力が低い場合や電気温水器との組み合わせにより流量が不足する場合は、定流量弁をはずして流量調節を行ってください。
① 止水弁をしっかり締めます。
② 手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ないことを確認します。
③ コンセントを抜きます。
【⚠注意】濡れた手でコンセントを抜かないでください。感電のおそれがあります。
④ 電磁弁ユニットのカバー部のねじをはずし、カバーを軽く押し上げながら手前に引くようにはずします。



⑤ クイックファスナー(小)をはずし、給水ホースをプラグごと上にはずします。
⑥ コネクターをはずします。
⑦ クイックファスナー(大)をはずし、ストレーナユニットから電磁弁ユニットをはずします。
⑧ 電磁弁ユニットに組み込まれている定流量弁をはずします。
この時、溝部にマイナスドライバーを差し込み、定流量弁を取りはずします。



7ページ　8ページ

取扱説明書2

日常のお手入れ・保守3

流量が不足している場合の調整方法２

⑨ 電磁弁ユニットとプラグをクイックファスナー(小)で固定します。
電磁弁ユニットとストレーナユニットをクイックファスナー(大)で固定します。

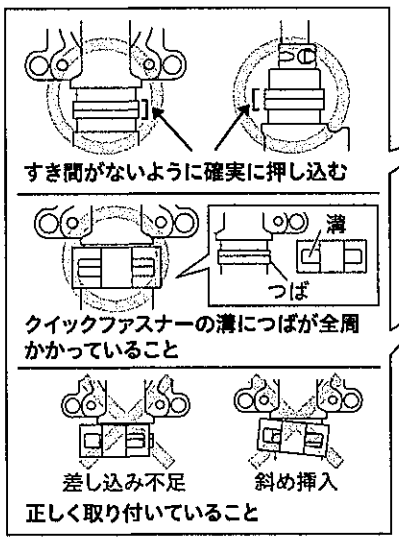
【⚠注意】クイックファスナーの接続は、以下の内容に注意してください。
しっかりはまっていないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
※すき間がないよう、確実に押し込む
※クイックファスナーの溝につばが全周かかっていること
※クックファスナー取り付け後は、正しく取り付いていることを目視や鏡を使い確認する

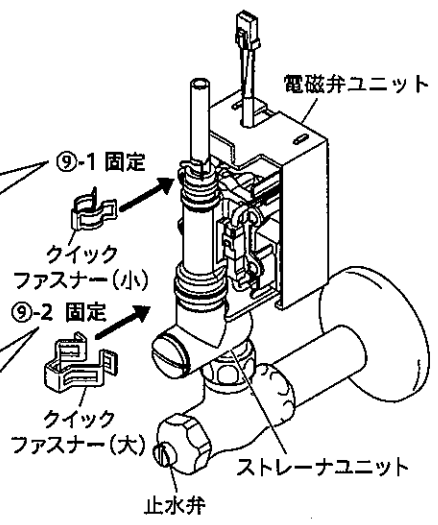
⑩ コネクターを接続し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

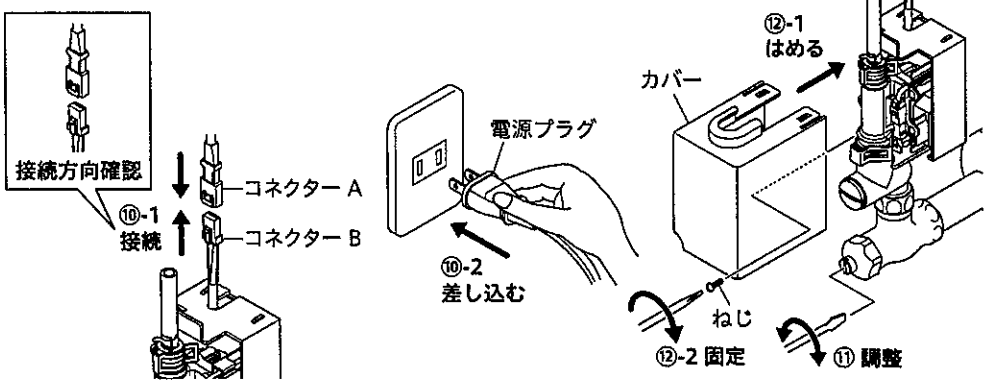
【お願い】電源が入ると直ちに感知距離を自動で設定します。センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約10秒でこの動作は完了します。)

⑪ 止水栓で流量を調整します。

⑫ カバーをはめ、ねじで固定します。







定期的な点検

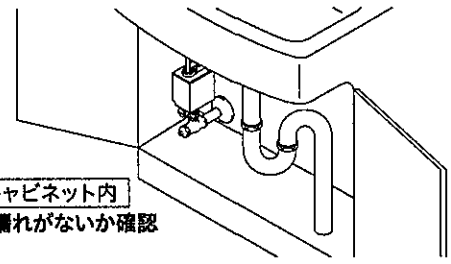
安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

センサーの感知(１週間に1～2回程度)

使い始め当初より感知距離が短くなってきたら、センサーの表面が汚れている可能性があります。
センサーの表面のお手入れを行ってください。
(「お手入れ方法」参照)

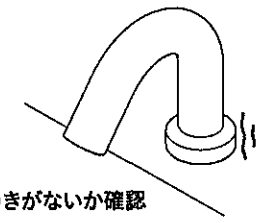
配管まわりの水漏れ(１か月に1回程度)

【⚠注意】
配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。



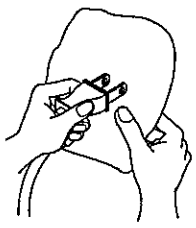
水栓取り付け部のがたつき(１か月に1回程度)

【⚠注意】
水栓取り付け部にがたつきがないか確認してください。がたついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



電源プラグの掃除(１か月に1回程度)

【⚠注意】
電源プラグについたほこりを取り除いてください。
電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になりますので、電源プラグを抜いて、乾いた布でふいてください。



定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

使用年数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年

取付日
お客様による日常のお手入れ・点検
消耗部品の交換(シャワーホース・パッキン等)[有料]
摩耗劣化部品の交換[有料]
→ 買い替えご検討

部品の交換 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。
・摩耗劣化部品の例(水栓の種類によって異なります)
例)カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等

【⚠注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換を行ってください。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。
(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください)
部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

補修用部品の供給期間 この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後１０年です。

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現　象	お調べいただくところ	処　置	参照ページ及び項目
水が出ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	施工説明書８ページ「通水確認」
	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る	6ページ「お手入れ方法」
	センサーの前に障害物がありませんか	障害物を取り除く	5ページ「自動吐止水方法」
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを差し込む	施工説明書７ページ「電源プラグの差し込み」
	コネクターは確実に接続されていますか	コネクターを確実に接続する	施工説明書７ページ「コネクターの取り付け」
	停電中または断水中ではありませんか	回復するまで待つ	―
	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	7ページ「ストレーナの清掃方法」
	センサーランプが点滅していませんか	電源プラグを抜いて、再接続する	施工説明書７ページ「電源プラグの差し込み」
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	施工説明書８ページ「通水確認」
	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	7ページ「ストレーナの清掃方法」
	給水ホースは折れ曲がっていませんか	折れ曲がらないように調整する	施工説明書6ページ「給水ホースの接続」
	吐水量が不足していませんか	定流量弁をはずし、止水弁で流量を調節する	8・9ページ「流量の調整方法」
吐水が飛び散る	吐水口金具のストレーナにゴミ等がつまっていませんか	吐水口金具のストレーナを清掃する	7ページ「ストレーナの清掃方法」
水が止まらない	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る	6ページ「お手入れ方法」
	センサーの前に障害物がありませんか	障害物を取り除く	5ページ「自動吐止水方法」
	センサーランプが点滅していませんか	電源プラグを抜いて、再接続する	施工説明書７ページ「電源プラグの差し込み」
	万一、上記の箇所を調べてみても水が止まらない場合は、止水栓を閉めてください。		

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]
【⚠注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。